

# 令和版 近江百人一首

〈読み札〉 第11首～第20首

沖つ波  
かこふ山影  
なみなみと  
満つる汀を  
淡海と言ひけむ

柴田つばさ

写真 / 辻田新也

奥琵琶の  
桜並木に  
降りたてば  
澄める空気  
花の精満つ

藤田桂子

写真 / 辻田新也

お土産に  
食べてみたいと  
君が言い  
木本町で  
サラダパン買う

吉田 誠

写真 / 辻田新也

思い出の  
学舎後に  
別れの日  
琵琶湖一周  
夢語る友

酒井夏子

写真 / 辻田新也

街道を  
見知らぬ人と  
すれ違い  
挨拶かわす  
逢坂の関

中島朋子

鍛冶仕事  
伊吹仰ぎて  
励みしか  
国友鉄砲  
世に知れ渡る

川上幸夫

写真 / (公社) ひわこビジターズビューロー

風わたる  
琵琶湖みはらす  
長命寺  
八百八の  
石段の上

長松浦宣子

写真 / (公社) ひわこビジターズビューロー

川端から  
流るる湧水  
澄み渡り  
生水の郷の  
生命守らふ

七

写真 / 辻田新也

からくりと  
はやしひきつれ  
ねりあるく  
ひきやまのさま  
みごとなけり

上田 準

写真 / (公社) ひわこビジターズビューロー

唐橋は  
沈む夕日に  
照り映えて  
名残りを惜しむ  
行く夏の刻

文音

写真 / (公社) ひわこビジターズビューロー

----- で切り取ってご利用ください。